

山岳危険・注意情報

(H28. 11. 1現在)

大分県の主要な3つの山系についての説明です。
登山計画時の参考にしてください。



くじゅう山系

主な山岳 ～ 久住山、大船山、平治岳、黒岳

- 通行不可（廃道路線・通行禁止路線）次の8区間
 - ① 大曲り～星生山山頂
 - ② 指山山頂～三俣山北峰
 - ③ 三俣山小鍋～雨ヶ池
 - ④ 牧ノ戸法華院線（中岳分岐～白口谷～法華院）
 - ⑤ 本山登山道（稲星越～鳴小山）
 - ⑥ 赤川扇ヶ鼻線（扇ヶ鼻～元レストハウス）
 - ⑦ 獵師山一目山線（獵師山～一目山）
 - ⑧ 湯坪→おむすび山→大崩ノ辻→黒岩山泉水山線
- 熊本地震の影響により、登山道が崩落等のため、新たに次の区間を追加した。
 - 通行禁止路線
 - ・ 赤川登山道（赤川から久住山）
 - ・ 本山登山道（沢水から稲星山）
 - ・ 平治岳から北尾根ルート
 - 通行の自粛を呼びかけている区間
 - ・ 長者原から諏蛾守越
- 坊ガツルから長者原に向かう途中の雨ヶ池越コースでは、雨ヶ池手前付近にある分かれ道で左側の登山コースに進むと三俣山北側の雑木林に迷い込みますので、直進してください。
もし、迷い込んだらススキの中を長者原方向に向かって右側に進めば正規の登山道に出ます。
左側方向は迷い込んで危険ですから、同所付近では、地図でよく確認しながら登山してください。
「迷ったな」と思ったら、早めに引き返す勇気が大切です。
- 沢水（そうみ）登山口から稲星山に向かう登山コースは、岩場が多いので、登（下）山時は十分注意してください。
- 本山登山道の稲星山・鳴子山分岐点付近では、崩土箇所があり、鳴子山へ直接登ることはできません。誘導ロープに沿って登山してください。
- 大船山の板切登山口からの登山は、登山道が不明確になっています。他の登山口からの入山を勧めます。

祖母・傾山系

主な山岳 ～ 祖母山、傾山、障子岳、夏木山

- 祖母・傾山系は、急峻で難コースが多く、登山道を外れて滑落・転落したり、道に迷うといった遭難事故が発生しています。
 - 祖母山黒金山尾根コースは、荒れている場所が多いことから、初心者は敬遠したほうがいいでしょう。
 - 祖母山頂から、傾山に向けて約100m地点の「はしご」設置箇所は、滑（転）落のおそれがある危険箇所です。特に12月から4月上旬までは、梯子が凍結し滑るため、アイゼンを着用して下さい。
 - 傾山三ツ坊主コースは、岩場が多く、滑（転）落のおそれがある危険箇所です。十分注意してください。
 - 傾山九折コースの観音滝は、転落事故の多発地点です。滝周辺の通過時は、十分注意してください。
また、カンカケ谷から九折林道までの間には、岩場の急斜面があり滑落事故の多発地点となっています。十分な注意が必要です。
 - 傾山西山（払鳥屋）登山口から山頂までのコースは、ほとんどが急勾配で約3時間くらいかかり体力が必要です。ゆとりある登山計画を立ててください。
 - 祖母山から傾山までの縦走は、長距離であり、急峻であるため、強靱な体力を必要とします。初心者や高齢者は十分注意してください。
 - 祖母・傾山系では、無線機や携帯電話の電波の届かないところが多くあります。
電池の消費も激しいので注意が必要です。
- ⚠** 障子岩尾根の通称鹿ノ瀬は、過去に登山道を外れ転落（死亡）する事故が起きていますので、十分な注意が必要です。

由布・鶴見山系

主な山岳 ～ 由布岳、鶴見岳、内山

- 平成28年4月16日発生の熊本地震の影響により、登山道が崩落等している箇所があるため、
由布岳、鶴見岳
は、登山は特に注意が必要です。
- 鶴見岳山頂から馬の背に向かう途中にある赤池には噴気孔がありますので近寄らないようにしてください。
- 鶴見岳山頂から鞍ガ戸～内山～塚原に向かう縦走ルート「船底」付近では道迷いになるおそれが高いため、案内標識を確認してください。